

市川市教育振興大綱

(案)

平成30年 月

市 川 市



いつも新しい流れがある 市川

2. 大綱とは

市川市教育振興大綱（以下「大綱」といいます。）は、市長が定めることとされている、本市の教育振興に関する目標や施策の根本的な方針です。

大綱の策定にあたっては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 1 条の 3 の規定に基づいて、市川市総合教育会議において市長と教育委員会が協議をし、策定後には遅滞なく公表することとなっています。

3. 大綱の対象期間

大綱の対象期間は、国が想定している対象期間が 4～5 年であることを考慮し、平成 31（2019）年度から平成 34（2022）年度までの 4 年間とします。

4. 大綱の目標

目標

自分らしく輝く力を持った人間味あふれる人の育成

変化の激しい社会を生き抜いていくには、生涯にわたって質の高い学びを重ね、互いに多様性を認め合いながら、自分の可能性を広げていくことが必要です。

そのためには、夢や希望に向かって自らの可能性を広げ自分らしく輝く力を持ち、個性的な感性を持ち豊かな創造性を発揮できる人間味あふれる人を育成していかなければなりません。

個に応じた学習や、言語や文化が異なる人々との交流など、様々な学び方を可能にし、障がいのある人や外国籍の人などを含めた誰もがともに学ぶことができる、環境づくりを進めます。また、生涯にわたって学び続けることのできる、未来を見据えた教育環境をハード面・ソフト面ともに整備し、質の高い教育を実現します。

誰もが自分の個性を伸ばし、可能性を広げていけるよう、一人一人に寄り添った豊かな学びを実現します。

人の根幹となる豊かな人間性は、人と人との関わりの中でこそ育まれます。家庭・学校・地域の連携・協働による世代を超えた交流活動を推進し、豊かな人間性を育みます。

5. 大綱の基本方針

基本方針

1

教育の未来環境を整備し、「質の高い教育」をつくります

AI や ICT の飛躍的な発展は、個に応じた学びを可能にします。学びの生産性を高めることにより、そこで生み出された時間を他の学びに振り向けることも可能になります。さらに、ICT の利活用は、教育機会の格差解消にもつながります。

多様なニーズに対応するため、ICT の利活用を促進し、一人一人のニーズに対応した教育機会の提供や、個々の進度や到達目標に応じた学習の推進など、生涯を通じて様々な学び方を可能にする教育環境を整備します。また、子どもたちの安全・安心の取組のために、ICT を利活用していきます。

また、グローバル化が進展していく社会では、言語や文化が異なる人々と協働していくことや、他者と交流し共生していくことが必要になります。ICT を利活用したネットワークによって交流を広げていく環境を整備することで、世界に目を向け、様々な人々との交流を通して、コミュニケーション能力を身に付けられる取組を進めます。

さらに、市民の誰もが、生涯にわたって、人とつながり、楽しく学び、活動し、人生を豊かにしていくことができるよう、学びの環境を整備します。

基本方針

2

豊かな学びで、「個性」を伸ばします

人には誰にでも、無限の可能性があります。年齢や性別、障がいの有無などで、その可能性が閉ざされることがあってはなりません。誰もが、夢や希望を持って、社会において、望んだ生き方を選択できることが必要です。それは、社会の一員として自立し、主体的に社会に参画することにもつながります。

そのために、一人一人の個性を伸ばし、可能性を広げることができるような学びが必要となります。

豊かな学びとは、一人一人が主体的に学ぶことです。これまでの学びを深めたり、学び直したりすることや、文化活動やスポーツに挑戦するなど、様々な形があります。

これまで以上に知識や能力を身につけ、磨き、個性を伸ばすことができるよう、豊かな学びの場を実現します。

そのために、一人一人のニーズに対応した教育機会の提供や、個々の進度、到達目標に応じた学習の推進など、生涯を通じて様々な学び方を可能にする取り組みを進めます。

特に、障がいのある人が自らの可能性を広げていくために、教育ニーズに応じた適切な指導や必要な支援を切れ目なく提供できるようにします。

これからの社会においては、様々な分野で技術が発展しても、その技術を的確に利用しつつ、人間ならではの知恵や感性によって、創造性を発揮していくことが重要になります。

そのためには、豊かな人間性を備えることが必要です。豊かな人間性とは、多様性を認め合う心や自他ともに大切に作る心などの豊かな心と、自分の個性を伸ばし可能性を広げようとする意欲や気力を兼ね備えたものです。

豊かな人間性は、地域コミュニティを核としたあたたかい人と人との関わりや、文化・芸術・スポーツとのふれあいの中で、感性を磨くことによって育まれます。

そのために、家庭・学校・地域の連携・協働をさらに継続・発展させ、子どもも大人も地域で学び、地域で育っていく教育の実現に取り組みます。また、地域コミュニティや多様な主体とのネットワークづくりを促進し、体験活動を重視し、創造力と実践力を育みます。